

( 様式第 4 号 )

上田市行財政改革推進委員会 会議概要

1	審議会名	平成 18 年度第 3 回上田市行財政改革推進委員会
2	日 時	平成 18 年 9 月 20 日 ( 水 ) 午後 1 時 30 分から 3 時 50 分まで
3	会 場	真田地域自治センター3階 全員協議会室
4	出席者	小池委員 ( 会長 ) 宮沢委員 ( 副会長 ) 鬼頭委員、小宮山委員、斉藤委員、高橋委員、武井委員、土屋委員、西沢委員、林委員、花岡委員、三井委員、米津委員 【欠席委員】久保木委員、森田委員
5	市側出席者	( 事務局 ) 金子行政改革推進室長、宮沢係長、小山主査
6	公開・非公開等の別	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7	傍聴者	2 人 記者 0 人
8	会議概要作成年月日	18 年 9 月 21 日

協 議 事 項 等

1	開 会 ( 小池会長 )	
2	議事	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>* 議事録の見方</p> <p>A 委員 . . .</p> <p>L B 委員 ( 事務局 ) . . .</p> <p>... A 委員の意見に対する B 委員の意見等 ( 事務局の説明回答など )</p> </div>
	( 1 ) 前回の会議録について ( 事務局 )	
	・別紙 ( 第 2 回会議概要 ) のとおり了解を得る。	
	( 2 ) 行財政改革大綱の骨格について	
	事務局 資料 10 及び 10-2 「行財政改革大綱の骨格について」 4 行動指針 5 重点項目 6 推進体制について説明する。	
	【行動指針について】	
	『スピード感、進捗管理、決定のプロセス、PDCA サイクルについて意見が出されました』	
	会 長 誰の行動指針か考える必要があるが、役所に期待するという切り口から検討したい。	
	委 員 スピードという観点も行動指針に入れてほしい。保育園の民営化については、前回、平成 12 年度の行政改革大綱にも触れられているが 6 年経っても具体的に進んでいないのが現状である。	
	委 員 市職員の目標であり、やっていこうという内容が多い。行財政改革大綱でなく他でうたうべきものではないか。	
	委 員 進捗管理についても行動指針に盛り込むべきだ。	
	L 委 員 P D C A のサイクルについて ( ) 書きで補足を入れたらどうか。	
	委 員 民間のコスト意識として、給与や退職金などで民間とは格差がある。コスト削減についても民間を見習えば、数年後には解決できる問題だ。歳出については枠を設けたらどうか。	
	L 会 長 給与や退職金、福利厚生など部会の中で議論を深めてほしい。	
	『この他に市職員の給与は誰から出ているのか。市民がオーナーであるなどの意見や質問が出されました』	
	委 員 上田市の財政状況について市としてどう捉えているか。	
	L 事務局 決算集計表をもとに財政力指数を用いて説明する。	
	L 委 員 重点項目を検討するうえでの判断としたい。今後上田市としてどこまで踏み込んでいけばいいのか。	
	L 委 員 徹底して改革を行うべきだ。	
	『具体的には部会で議論することとしました』	
	委 員 「決定のプロセスを大切にする」という意味は。	
	L 事務局 政策決定がどこで、どのようにされているかを明確にしたい。	
	L 委 員 意思決定されても何もしないということではないか。	
	L 事務局 例えば、公立保育園の民営化について具体的にない。具体化できるような仕組みをつくりたい。	
	L 委 員 平成 12 年に規制緩和があり、民間でも保育園の運営ができるようになったが、現在ま	

で何も具体化されていない。こうしたことが職員の共通認識として持てるようにならないといけない。

Ｌ委員 行政改革大綱で位置づけても、その後の検討委員会でできないこともある。組合や議会などとの関係もある。

Ｌ委員 実行が伴わなければ意味がない。

Ｌ事務局 行政改革推進委員会で進捗管理をしていただきたい。

委員 今回は、行政改革推進室も新設された。今までの大綱は理念的でしかなかったが今後は3点セット（総論・集中改革プラン・数値目標）で実行する。

委員 行動指針の評価は誰が確認するのか。

Ｌ事務局 行動指針は気持ちであり、具体的な行動計画の進捗管理は議会や委員会で指摘を受ける。また、何ができなかったかを公表し、市民からも評価をしていただく。

Ｌ委員 総論はわかるが、評価し難い項目もある。

委員 「できることからはじめ・・・」とはどういうことか。PDCAは市民には理解が難しい。

Ｌ委員 PDCAは民間では当たり前で厳しく実施していることであり、人事や給料に反映されている。

Ｌ委員 「できることから・・・」ではなく「できないと言わずにどうしたらできるかを考える」に言い換えたほうが良い。

会長 行動指針とは、市役所職員が共通のベクトルとして持っていくためのもので、最終的に数値目標が入ってくればわかりやすくなるのではないか。

#### 【重点項目について】

『民間の経営感覚や言葉の使い方等に意見が出ました』

事務局 次の視点について基づき説明する。

民間の経営感覚により簡素で効率的な行政経営を行い、市民ニーズを把握し、良質な公共サービスを提供する。

地方分権の進展に伴い、地域分権に沿った組織や仕事のやり方を見直し、庁内分権を進める。

委員 民間の経営感覚の考え方として数値目標の設定を入れたい。

Ｌ委員 目標に対して、成果を評価する評価制度の導入を入れたいらどうか。

Ｌ事務局 今まで数値目標を設定してこなかった。今年度から目標管理制度を導入したが、どうやって評価するか難しい問題でもあり入れていただくことは良いと考える。

Ｌ委員 小さな市をつくるという考え方でいけば、国で示されている職員数の4.6%純減では間に合わないのではないかと。もっと目標値を上げなくてはいけないのではないかと。また、職員の行動指針や姿勢については大綱ではなく中分類の一つとして入れたいらどうか。

Ｌ会長 市長からの諮問にも具体的な数値の設定がある。

委員 CS（顧客満足）、市民満足度調査は県内でやっているところはあるか。

Ｌ事務局 昨年度、塩尻市で実施している。このほかにも3つの尺度で実施しているところもある。

委員 職場の活性化についても入れたいらどうか。例えば、職員提案制度の構築により職員の士気を高めることも必要だ。

委員 市役所で「ありがとうございます」「いらっしゃいませ」という言葉をかけられたことはない。民間では競争相手がいるが、行政では競争がない。意識改革は抽象的でなかなか難しい。「株式会社上田市」（市民が株主）とならなければいけない。例示として「ありがとうございます」「いらっしゃいませ」を具体的に言わせるようなことも必要だ。

Ｌ委員 民間の経営感覚を学ぶ取組みをしてほしい。民間では評価が上がらないと給与も上がらない。

委員 「最小の経費で最大のサービス提供」は無駄を省くとしたらどうか。また旧町村の住民が本庁で、対応の悪い窓口サービスを受けると合併効果も半減する。

委員 全体として役所言葉で言葉が硬いので工夫が必要だ。

委員 「入札制度の適正化」というと、今までは不適切であったのか。

Ｌ事務局 より多くの方に入札や契約をしていただくという意味であり、適正化という言葉は変更する。

Ｌ委員 「適正化」というより「進化」という意味ではないか。

委員 窓口サービスの向上ではなく、行政サービスの向上が良いのではないか。

Ｌ事務局 旧上田市の場合、窓口での対応が悪いこともあり特定した。

Ｌ委員 やり方として、待遇マナーを訓練した方を窓口業務に当たらせるか、民間に任せるかだと考える。

#### 【推進体制について】

『概念図、役所変えよう委員会について意見が出されました』

委員 概念図にPDCAのサイクルをまわすイメージが必要。例えば、それぞれの役割として、PとDに各部の行財政改革推進チームが、Cに行財政改革推進委員会がというイメージがほしい。行政内部でもPDCAのサイクルはある。

委員 行財政改革推進委員会は市長からの諮問により審議している。概念図では議会や市民への対応もしなければいけないようなイメージがある。

委員 フラットな組織を目指すのであるなら、本部があり幹事会があるということは意味がない。各部自分たちから行政改革を行うという体制が必要だ。

Ｌ委員 本部直轄で推進チームがあったほうが良い。

委員 役所変えよう委員会はあっても良いが、15人の職員が表に出ないほうが良いのではないか。

Ｌ事務局 部局横断的なメンバーで課長補佐以下の若い職員により構成される。事務事業の見直しや業務改善などを提案していく組織である。

Ｌ委員 本部に直接提案できるような組織として位置づけたらどうか。

Ｌ委員 下から上に提案していくような組織にしたなら市役所の体制も変わってくるのではないか。

Ｌ委員 機の配置なども変えることによって組織が変わってくる。

委員 職員の提案制度について取り入れたらどうか。

Ｌ事務局 12月までに制度の構築をする。提案内容も事務改善から事業提案を想定している。

会長 3回の委員会でいくつかの意見が出た。今後は各論の中で総論に対する意見もあれば出してほしい。現時点でまとめたものを出す。

#### (3) 部会の進め方について

事務局 資料14により会議の日程について説明する。3回の部会の後、4回の全体会を予定したい。

委員 最終的なタイムリミットはいつか。

Ｌ事務局 12月いっぱいで大綱の答申をいただきたい。

#### (4) その他

『委員から資料はコンパクトにしてほしいとの要望が出されました』

会長 総論について各委員の意見を聴きたい。

Ｌ事務局 各委員から意見等をいただくよう依頼する。

会長 今後、部会で議論していくことになるが、各委員の関心のあるテーマを絞って出してほしい。また、他市の例なども参考にしてほしい。

次回：第1回人材・財政部会・・・9月29日（金）13：30～ 本庁南庁舎 第3～5会議室

第1回組織・情報部会・・・10月10日（火）13：30～ 本庁南庁舎 第3～5会議室